

平成30年(2018年)～令和2年(2020年)の琵琶湖南湖でのブルーギル小型魚の生息状況

田口貴史・石崎大介・根本守仁・酒井明久（水産課）

1. 目的

琵琶湖南湖での春～初夏にかけてのブルーギル（以下、ギル）小型魚（おおむね体長120mm未満）の生息状況および分布を明らかにする。

2. 方法

2018、2019年に実施したギル分布調査^{1,2)}と同じ20地点で2020年6月15、16日に小型ビームトロール網による捕獲調査を行った。調査方法は本報告の別項³⁾に準じた。ただし曳網時間は曳網地点の水草、糸状藻類の繁茂状況に応じて3～5分間とした。捕獲魚は体長を測定して尾数を記録し、各地点での捕獲状況と調査全体での100m²あたりの捕獲尾数を年次ごとに比較した。

3. 結果

調査全体での100m²あたりのギル捕獲尾数は2018年には7.8尾であったが、翌年には0.7尾まで減少し、2020年も同程度の1.1尾となった。これらの結果は近年の琵琶湖でギルの減少が顕著であり、その当歳魚の生息状況も2019年以降最低水準であることを反映したものと考えられる^{3,4)}。

本調査での地点ごとのギル捕獲状況を図1に示す。2018年には20地点のうち、16地点でギルが捕獲されたが、翌年には5地点に減少し、2020年には7地点となった。一方、分布（捕獲地点）については南湖北中部に偏る傾向が見られた。今後、減少したギルを効率的に駆除するには南湖北中部での駆除が有効と考えられる。

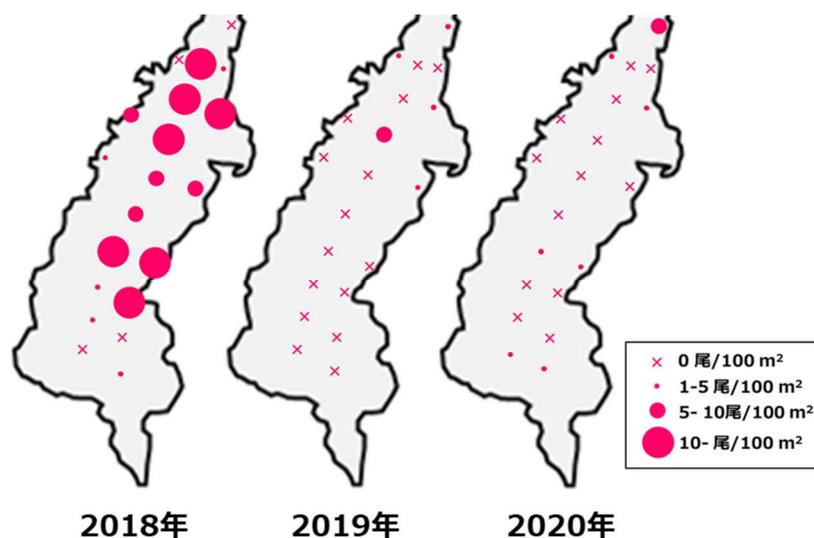


図1 本調査でのギル捕獲状況の経年変化

図中の●の大きさは100m²あたりの捕獲尾数の多寡を表す

1) 田口ら（2020）. 琵琶湖南湖におけるブルーギルの分布. 平成30年度滋賀県水産試験場事業報告, 73.

2) 田口ら（2021）. 令和元年(2019年)6月の琵琶湖南湖におけるブルーギルの分布. 令和元年度滋賀県水産試験場事業報告, 69.

3) 本報告中の「令和2年(2020年)秋における外来魚生息状況調査結果」を参照.

4) 本報告中の「令和2年度(2020年度)当初の琵琶湖における外来魚生息量の推定」を参照.

*本報告は水産庁からの委託事業「効果的な外来魚抑制管理技術開発事業」の成果の一部である.